

広報やまし

1975

3 / 1

第81号

發行
新潟県古志郡
山古志村役場
電話 竹沢局
17 23 78



クラブ活動として、駒を進める豆棋士たち（種苧原小）

村の人口			= 2月1日現在 =
世帯数	987		
人口	4,161人	(男 2,071人)	(女 2,090人)
1月中の住民移動		出生 3人 (男 1・女 2)	死亡 5人 (男 5・女 0)
		転入 9人 (男 3・女 6)	転出 9人 (男 6・女 3)

主な記事

- 郵便による不在者投票制度新設
 - 出稼者農業改善検討集会
 - ガソリンの無鉛化と
 - 農林業機械について
 - 交通灾害共済
 - 全日本総合錦鯉品評会
 - 悪徳商法にご注意を
 - 春の火災予防運動実施

第81号 ■■■■■ 広報やまこし ■■■■■

電話で医師の意見を
求めたときの

診療費

電話などで治療上の意見を求める場合がよくありますが、直接みでもらわないから無料だと思っている人が多いようです。

少し考えてみればおわかりでし
ようが、他の患者の診療や、家で
の休息を中断して電話の内容だけ

て一時的に駐車して頂く場所に、無断で長時間にわたって駐車される方があり、非常に迷惑しております。ことに冬季間の除雪の際大きな障害となりますので、ご協力をお願いします。

なお、玄関前は救急車等が利用するため駐車禁止の場所を設けてありますが、厳重にお守りください。

(小出病院)

県立新潟高校通信制
新潟市西区川原町

「古志のふるさと」文集
出稼ぎ先へ発送
出かせぎ組合ではこのほど文集
「古志のふるさと」の第八集を発
行しました。

村を離れ遠く県外で働いている
みなさんに、少しでもふるさとの
たよりをと、四十三年から続けて
いるものです。

自分の財産である土地、家屋などがどのようになつて登録されているか、その評価額がいくらかなど、固定資産課税台帳をお見せします。

希望者は期間内においてください。

とき 三月一日から二十日まで

ところ 役場税務課

この制度は、個人個人の程額を



お知
らせ

科目別コース（希望科目の
学習）若干名

いためこれの入った混合ワクチン接種が中止になりましたが、都合でまだ接種が完了せず心配しております。

十ページにわたるデラックス版となりました。

現在、エネルギー問題は、長期的な視野に立って考え、理解していく必要に迫られています。そのため、エネルギー管理の充実は、貴重で高価なエネルギーを有効に使う意味からも重要なことです。

限りあるエネルギー資源を大切に

事業所
家庭における
用状態を
方法を考
能率よく
す。

などはもちろんのこと、
 いても電気や石油類の使
 見直して無駄のない使用
え、貴重なエネルギーを
利用することが望まれま

め、限られたエネルギーを大切に
使いましょう。

ギューラーガソリン二に対し、ハイオク（プレミアム）ガソリン（従来どおり加鉛したものが販売されます。）をおおむね一割合で、混合して使用することが必要です。したがつて、ガソリンスタンドや給油を受けた

ンスタンドでも相談に応じてくれます。

出かせぎ先で激励と研修を

出稼者営農改善検討集会など



出かせぎ者が安心して働くよう、昨年から引きつづき実施している出かせぎ先の研修会は、ことしも一月二十一日、東京流通センター会議室において激励をかねて開催されました。

この日は、都内に就労されている出稼者を中心に約七十名が出席、村からは村長はじめ、議会議長

建設委員長、出稼組合長、担当課長、係長、係員のほか農林省の担当官も参加されて、最近における社会情勢や村の施策、出来ごと等について説明のあと、次の点について協議を重ねました。

○営農上の問題点について
○留守家族についての情報交換
○就労上の問題について

建設委員長、出稼組合長、担当課長、係長、係員のほか農林省の担当係官も参加されて、最近における社会情勢や村の施策、出来ごと等について説明のあと、次の点について協議を重ねました。

- 営農上の問題点について
- 留守家族についての情報交換
- 就労上の問題について

最近のインフレと不況のなかで就労時間の短縮や一時帰休などの収入に及ぼす深刻な問題が多く、農政上の問題や留守家族の心配ごとなど真剣に話し合い、これらの点を細かくチェックして対策を協議し、出かせぎ者との交流を深めました。

また、短期研修として、当日開催中の全日本総合錦鯉品評会を視察し、全国から出品された錦鯉を念入りに見学のうえ、帰郷後の錦鯉生産について話し合い、より優秀品の産出に意欲を燃やし、その目的が達せられたようです。

農林業機械について

手帳	戦傷病者	者手帳	身体障害	種手帳類
害	心臓・じん 臓もしくは 呼吸器の障	両下肢もし くは体幹の 障害	心臓・じん 呼吸器の障 害	両下肢もし くは体幹の 障害
項症まで	特別項症 から第三	特別項症 から第二 項症まで	一級もし くは三級	一級もし くは二級

（2）前記（1）に該当することが手帳の記載によって明らかでないが、知事が、前記（1）に掲げる障害と同程度の障害であると認め、書面により証明した人。

（3）郵便による不在者投票をするとのできる人は、山古志村選挙管理委員会委員長から「郵便投票証明書」の交付を受けてください。

交付申請は、所定の様式による申請書に本人が署名し、前記の手帳または知事が証明した書面を添付して申請することになります。

これらに必要な郵便投票証明書交付申請書及び知事が発行する障害程度証明願等の関係用紙は選管に用意しておりますから早目に申し出てください。

なお、この証明書は、発行の日から四年間有効ですので、手帳と一緒に持参して下さい。

◇投票手続きのあらまし◇

三月一日以降に公示または告示される選挙等について投票できることになりますが、その手続きのあらましは次のとおりです。

(1)投票用紙および投票用封筒の請求—

郵便による不在者投票ができる選挙人は、選挙の期日前四日までに、所定の様式による申請書に本人が署名し、郵便投票証明書を提示して、山古志村の選挙管理委員会委員長に投票用紙および投票用封筒を請求してください。請求書は選管で準備します。

この請求は、選挙の公示または告示の日前にもできます。

(2)投票用紙および投票用封筒の交付—

村の選挙管理委員会委員長は、請求した選挙人が郵便による不在者投票をすることのできる選挙人に該当すると認めたときは、直ちに(公示または告示前に請求のあった場合は、公示または告示後直

電話のコーナー

(ちに) 投票用紙および投票用封筒を郵送により交付します。

③投票

投票用紙および投票用封筒の交付を受けた選挙人は、その現在する場所で、投票用紙に自ら候補者の氏名を記載し、これを投票用封筒に入れ封をし、封筒の表面に封をし、投票が在中する旨を明記して、早目に山古志村の選挙管理委員会委員長あてに郵便で送付してください。

なお、詳しいことは選挙管理委員会に問い合わせください。

季節の話題

新入学児童

ドセルの中身は何でしょか。エントセルは新入学児童のシンボルです。ピカピカ光つたランピツやケシゴム、それにノートのほかに学用品は、もうそろいましたか。おうちでも何べんか背負つてみて、通学のリハーサルをやつしたことでしょう。

これまで、保育所へ通つていたお子さんなら、保育所の同級生とまたいっしょになるというケースもありますが、そうでないときには、初めて合わすお友だちの顔を見てこわがつたり、虫が好かないとか、どうも肌が合わない……と

いうことは、おとなとの世界と同じです。
うちの子どもは…といった自信をもつておるお母さんも、よく先生と相談したり、ご近所のお友だちの家へも訪ねて話し合つておくこともいいでしよう。

入学前に学校のほうから通知がありましようが、学校側でお子さんに期待するのは、字が読めたより、少しばかり算数が先にできたりすることよりも、まず自分の名前が言えること、かなで自分の名前が書けるようにしておくことです。

学校は保育所どちがいますから自分で用便がたせること。それから、自分の衣服を自分で脱いだり着たりできるように。ハナガミやハンカチの使い方やそのしまづが

交通安全年間スローガン

できるように。ハイとイイ工の意思表示ができるように…しておきたいものです。
もうひとつ。これはお母さん
に。学校へ行く道の安全交通を考
えておいていただきたいのです。

山本志よもやま
（62）

ふさ志よわやま (62)

大久保の部落に、「おおや」という屋号の家があつた。二十六、七代続き、その遠祖は五十九武左衛門という武士で何かの事情でこの地に来て居住し、武士をして百姓になつたと伝えられ、以来部落を統率するほどの家柄となつたものだというが、流離の波におされてかその子孫は東京辺に去つて、今は廢家となつてゐる由である。

部落の鎮守様は、この「おおや」の内鎮守であつたものを、部落の鎮守様としたものだといわれ、部落鎮めの象徴となり、祭政一致の中心となつて、今日までの長い歴史をへて來たものだ。土地の人々は、「南無地蔵大菩薩」と唱え合掌するこの地蔵菩薩の、ご本体は木の木で造られたもので巧妙なものであるし、その股内にまた同じ木で造られた子地蔵様が、親にだかれているような恰好でおさまっている。これを「胎内仏」といってゐるが、兎に角立派なものである。昔は部落の人は当然ながら遠く山坂越えて他部落の人まで参詣に來たものだといわれている。それだけ子をもつ親の願い

には靈験があらたかであつたからだろう。例祭日は八月二十三日、昔の陰曆をみてもこの前後がお盆にあたつてゐる。

しかし、この地蔵菩薩もよく見れば、蓮華台や背中に焼焦げのあとがある。不思議に思つて川上忠一氏に聞いて見ると、この部落に一時期、どういう関係か、乞食が寄り集まり軒下や、お堂を一夜のねぐらとしたといふ。そのたむろした乞食が焚火をし、その不始末からこのようにな焼けこがされたものだと伝えられてゐると話された。

伝承によれば、大久保部落はふるく七百年の歴史をへているといわれ、二十村郷内で五十嵐川上の姓を名乗るものうちの大半はこの部落出身者を祖としているとの話が残されている。

かつて、私の従兄、故人の川上吉位氏の家に行つた時、種々の話から五十嵐武左衛門に関する古文書の写しを見せてもらつたが、古文首を読めない人の写しと見え、読解も出来ないものだつた。本書は火事で失なつたらしいが、どこかに何かが残つていなかつてゐる。

明るい家庭づくりはスキーから……

池谷小学校区（3ヶ部落）は昭和50年～51年の2ヶ年間、「明るい家庭づくり推進地区」として新潟県の指定をうけ、地区公民館長を先頭に、地域ぐるみ運動このりだしました。

家庭の日はもとより親子文庫の利用による親子読書集会、春には親子のハイキング、ボール大会、その他秋のきのこ狩りなどが計画され、親子のふれあいを通して明るい家庭づくりの推進と青少年の健全育成をはかることとなっています。

2月19日は初の試みとして、自然を利用した親子スキー大会を開催し、明るいふん囲気のなかで親子が一体となって励ましたり、笑い合うなどその成果を上げていました。



選 手 宣 誓



おしるこのサービスで一鳥入れる



優勝をねらう一年生



むかしの名選手（？）が勢ぞろい

部落ぐるみで完成した大樺スキー場

昨年秋以来、虫亀部落が一体となって大稽スキー場が建設され、2月20日、この完成のよろこびをこめて虫亀小学校では記念スキー大会が開かれました。

このスキー場は、部落の北方にあたる大檜地区の山林を切り開いて敷地約2ヘクタール、標高差約50メートル、スロープの全長も約200メートルという立派な規模であり、地元民の無料奉仕により作られたもの。

この日は晴天に恵まれて子供たちの張り切りようは大変なもので、全校生徒約90人のほか、父兄も参加して子供時代に若返り競技に加わったり、婦人会の熱い甘酒サービスも行なわれました。

なお、スキー場の完成を契機に子供たちのスキーのみならず、大人も大いに利用し冬季の明るい楽しい生活を送るための行事として発展させたいとしています



完成を祝ってあいさつする村長



一着でゴールイン、新記録かな？



新らしいスキー場に集った部落の人たち